

事業群評価調書(令和元年度実施)

基本戦略名	9 快適で安心・安全な暮らしをつくる	事業群主管所属	環境部地域環境課
施策名	(5) 良好で快適な環境づくりの推進	課(室)長名	吉原 直樹
事業群名	② 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善	事業群関係課(室)	諫早湾干拓課、水環境対策課
基本戦略名	9 快適で安心・安全な暮らしをつくる	事業群主管所属	環境部地域環境課
施策名	(7) 人と自然が共生する地域づくり	課(室)長名	吉原 直樹
事業群名	④ 大村湾周辺地域の里海づくり	事業群関係課(室)	自然環境課

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)</p> <p>9-(5)-② 閉鎖性の強い海域である大村湾の環境保全と水産資源の回復を図るため、下水道施設の高度処理化や貧酸素水塊※対策に取り組みます。また、諫早湾干拓調整池の水質改善のため、流入負荷削減対策など、国、県、市の関係機関で連携して取り組みます。</p> <p>9-(7)-④ 変化に富んだ独特な景観を持つ、日本有数の閉鎖性海域である大村湾の魅力を活かすため、多様な生物が数多く生息することができる豊かな海づくりを進めるとともに、海の恵みを持続的に活用できる地域づくりに取り組みます。</p> <p>※貧酸素水塊: 主として夏場に海底部で発生する酸素濃度が極端に低い水の塊</p>	<p>(取組項目)</p> <p>i) 生物を活用した大村湾や諫早湾干拓調整池の水質浄化の取組(事業群9-(5)-②、9-(7)-④) ii) 大村湾流域別下水道整備総合計画に基づく下水道施設の高度処理化の推進(事業群9-(5)-②) iii) 希少野生動物種保存地域の指定(事業群9-(7)-④) iv) 再生砂による浅場づくり(事業群9-(7)-④)</p>
---	---

事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	9-(5)-② 大村湾の水質 (COD※75%値平均) ※COD(化学的酸素要求量)の略。海域、湖沼の水の有機汚濁物質等による汚れの度合いを示す指標。	目標値①	2.5mg/L (H26)	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L (R2)	
	実績値②		2.1mg/L	2.0mg/L	2.1mg/L			進捗状況		
	②/①(達成率)		80%	100%	80%			やや遅れ		
9-(5)-② 諫早湾干拓調整池の水質 (COD 75%値平均)	目標値①	7.9mg/L (H26)	—	—	—	—	5.0mg/L	5.0mg/L (R2)	9-(7)-④ 平成28年度に大村市森園公園地先、平成30年度に時津町崎野自然公園地先に造成した再生砂による浅場は、二枚貝の生息やエイ等による捕食跡がみられるなど生物の生息の場となりつつあるが、平成30年度は台風等の影響による稚貝の逸散、斃死により個体数が減少したと考えられる。	
	実績値②		7.4mg/L	7.4mg/L	8.4mg/L			進捗状況		
	②/①(達成率)		—	—	—			—		
9-(7)-④ 大村湾沿岸に再生砂で造成する浅場に生息が見込まれる二枚貝の個体数	目標値①	0個体	0個体	80万個体	80万個体	160万個体	160万個体	160万個体 (R2)		
	実績値②	0個体 (H26)	—	185万個体	22万個体			進捗状況		
	②/①(達成率)		—	231%	27%			遅れ		

2. 平成30年度取組実績(令和元年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 平成30年度事業の実施状況 (令和元年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				平成30年度事業の成果等	中核事業	
				H29実績	うち 一般財源	人件費 (参考)			指標	主な目標	H29目標	H29実績			達成率
				H30実績							H30目標	H30実績			
				R元計画				R元目標							
1		「いさかん」水辺の保全推進事業	(H30 終了) H28-30	2,656	956	6,436	諫早湾干拓調整池	諫早湾干拓調整池の水辺環境の保全と創造を図るため、諫早湾干拓調整池中央干陸地における利活用に係る基礎調査、環境学習などを実施した。	活動指標	ヨシの刈り取り面積 (ha)	3	3	100%	●事業の成果 ・中央干陸地で事業者によるヨシの刈り取りが行われた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・関係機関、関係者が連携し、一体となって取組を実施することにより、調整池の水質目標達成に寄与する。	○
				4,302	4,302	6,378					3	3	100%		
		地域環境課				成果指標			諫早湾干拓調整池の水質(COD mg/L)	—	7.4	—	—		
2		「いさかん」水辺の保全と活用加速化プロジェクト事業	(R元 新規) R元-3				諫早湾干拓調整池	諫早湾干拓調整池の水質保全・水辺空間づくりの推進のため、中央干陸地におけるヨシの刈り取りや再生可能エネルギーの導入推進、環境学習などを実施する。	活動指標	ヨシの刈り取り面積 (ha)				—	
											4				
		地域環境課	3,110	2,308	7,973	成果指標			諫早湾干拓調整池の水質(COD75%値平均)(mg/L)	—					
3	取組項目 i	大村湾環境総合対策事業(浮遊ゴミ除去)	(H30 終了) H28-30	18,029	11,666	4,023	大村湾流域	大村湾の水質を保全するため、大村湾をきれいにする会が事業主体となって実施する大村湾浮遊ゴミ除去対策事業に対する補助を行った。	活動指標	浮遊ゴミ除去の延べ出隻数(隻)	132	132	100%	●事業の成果 ・目標以上に浮遊ゴミを回収したことにより、大村湾の環境保全に寄与した。 ・なお、大村湾沿岸の漂着ごみの清掃活動、県民の環境保全意識の定着により、浮遊ゴミの除去量は概ね減少傾向にある。	
				23,435	8,634	7,972					132	132	100%		
		地域環境課				成果指標			浮遊ゴミの除去量(t)	23	20	86%	23		
4		みらいにつなぐ大村湾事業	(R元 新規) R元-3				大村湾流域	大村湾の環境改善や沿岸を含む地域活性化を図るため、行動計画に沿った対策を総合的に推進する。	活動指標	大村湾体験活動実施回数(回)				—	
											2				
		地域環境課	9,315	6,207	7,973	成果指標			大村湾の水質(COD 75%値平均)(mg/L)				2.0		
5		諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	H25-	5,033	3,033	8,046	諫早湾干拓調整池	「第2期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」を推進するため、各種事業の進捗管理や各種イベント等に参加し、水質保全の必要性を説明した。	活動指標	諫干イベント参加者数(人)	3,000	3,200	106%	●事業の成果 ・地域の住民等に対し、調整池の恒久的な水質保全と水辺空間づくりの必要性に関する啓発等に寄与した。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・関係機関、関係者が連携し、一体となって取組を実施することにより、調整池の水質目標達成に寄与する。	
				3,725	1,725	7,972					3,000	3,200	106%		
		地域環境課	3,021	881	6,378	成果指標			諫早湾干拓調整池の水質(COD mg/L)	—	7.4	—	—		

6	取組項目 i	調整池及び流入河川における淡水二枚貝類の生息場拡大手法の開発に関する研究(研究)	H30-R2	2,123	2,123	11,958	諫早湾干拓調整池	諫早湾干拓調整池および流入河川において、淡水二枚貝の生残率を高めるとともに、生息場を広げる手法について検討した。	活動指標	生息場造成実験水路数(地点)	2	2	100%	●事業の成果 ・コンクリート三面張りの用水路でも、コンクリート平板などを設置して砂が堆積するようにすれば、マジミが定着し、二枚貝生息場として機能することが確認できた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・水質浄化能力を持つ二枚貝を増やすことにより、調整池の水質改善の一助となると考えられる。
		環境保健研究センター	2,252	2,252	11,959	成果指標			マジミ生息数(個体/m ²) (境川周辺の三面張り和小河川の2地点でそれぞれ9回測定した平均値)	50	138(三面張り)、513(小河川)	276~1026%		
7	取組項目 i	諫早湾周辺地域環境保全型農業推進事業	H25-R4	8,170	0	—	諫早湾干拓調整池	諫早湾周辺地域において、肥料使用量削減等の環境保全型農業による現地実証を行い、環境に優しい農業の推進を図った。	活動指標	国、関係機関との事業打合せ(回)	3	3	100%	●事業の成果 ・キャベツ、パレイシヨ、ブロッコリー減肥技術展示圃の設置、研修会、啓発チラシの配布を実施し、環境に優しい農業の推進を図った。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・諫早湾干拓調整池の水質改善のため、水田における浅水代かきの推進、チラシ配布による啓発を進めた。
			7,929	0	—	成果指標			啓発活動等の実施(現地実証・研修会・チラシ作成)(回)	3	3	100%		
		諫早湾干拓課	8,500	0	—				3					
8	取組項目 ii	(特)大村湾南部流域下水道事業(公共)	H5-R12	290,545	0	—	大村湾流域	大村湾南部流域下水道事業については、下水道の普及が一定進んでいるので、水処理施設の高度処理化にウエイトを置いて事業を推進している。なお、事業の推進のためには、流域関連市との連携が必要であることから、議論を進めていく場として協議会を設けている。 平成30年度は大村湾南部浄化センターの水処理施設を高度処理化する工事を進めるとともに、ストックマネジメント計画に基づき、浄化センター内の中央監視装置の改築更新を行う工事にも着手した。	活動指標	協議会等開催回数(回)	5	5	100%	●事業の成果 ・高度処理化工事の推進及び中央監視装置の改築更新の施工に着手した。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・高度処理化工事を推進することにより、大村湾の水質改善に寄与する。
			292,443	0	—	成果指標			放流水質の遵守基準の達成率(%)	100	100	100%		
		水環境対策課	1,164,700	0	—				100					
9	取組項目 iii	希少野生動植物保全事業費	—	1,028	1,028	8,046	一般県民	レッドリスト掲載種のモニタリング調査を実施するとともに、保護が必要な野生動植物の捕獲・採取等を規制する地域指定を行った。	活動指標	希少野生動植物保全事業検討会の開催(回)	2	2	100%	●事業の成果 ・専門家による会議を2回実施し、希少種の保全等を検討した。雑草植物1種類の保護・保全のための地域を指定し、保護の充実を図った。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・保存地域の指定により、生物多様性保全に資する希少な野生動植物の保全が図られた。
			1,285	1,285	7,972	成果指標			自然環境保全地域等指定数(件)	1	1	100%		
		自然環境課	1,788	1,788	5,581				1					
10	取組項目 iv	大村湾環境総合対策事業(浅場造成)	(H30 終了) H28-30	18,029	11,666	4,023	大村湾流域	大村湾の水質保全及び環境保全等を推進し、生物の生息場を確保するため、時津町崎野自然公園地先に浅場造成を行った。	活動指標	再生砂による浅場造成面積(ha)	1.0	1.0	100%	●事業の成果 ・造成した浅場には二枚貝の幼生が生育し、また、鳥やエイ等による捕食の跡が見られるなど生物の生息の場となりつつあるが、平成30年度は台風等の影響による稚貝の逸散、斃死により個体数が減少したと考えられる。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・生物生息の場を創出することにより、大村湾の環境保全・水質改善に寄与する。
			23,435	8,634	7,972	成果指標			二枚貝の個体数(万个)	80	185	231%		
		地域環境課							80	22	27%			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 生物を活用した大村湾や諫早湾干拓調整池の水質浄化の取組

(大村湾関係)

- ・大村市森園公園地先に約1ha、時津町崎野自然公園地先に約0.1haの再生砂による浅場を造成し、県内で発生した産業廃棄物の利活用の一つのモデルとなった。
 - ・造成した浅場は、鳥やエイ等の捕食跡や二枚貝の幼生の生息が確認されており、生物の生息の場となりつつある。一方で、平成30年度は台風等の影響による稚貝の逸散、斃死により個体数が減少したと考えられるため、浅場の効果については、今後も継続してモニタリングを行う必要がある。なお、浅場についてはSNS等でインスタ映えスポットとしてテレビで全国放送されるなど様々なメディアで取り上げられており、住民の大村湾に対する親水意識の向上に加え、本事業への関心度も高くなっている。
 - ・大村湾の浮遊ゴミ清掃を継続して行うことにより、県民の環境保全意識を保持する必要がある。
- (諫早湾干拓調整池関係)
- ・水質保全目標を達成していない要因として、流域からの生活排水や施肥・農薬使用に伴う面源由来の汚濁負荷など複数の要因が存在する。今後は、令和元年8月に策定した第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画に基づき、引き続き関係機関一体となって各種施策を進めていく。
 - ・行動計画に掲げる各種の対策を着実に実行するよう推進するとともに、追加対策についても検討を進めていく。

ii) 下水道施設の高度処理化の推進

- ・大村湾流域での下水道等の普及は一定進んでいるので、高度処理化にウエイトを置いて事業を推進している。国からの交付金を確保し、引き続き事業の進捗を図る必要がある。

iii) 希少野生動植物種保全地域の指定

- ・希少野生動植物種保存地域の指定などによる長崎県を特徴付ける動植物種や生態系の保全に関しては、希少種の捕獲採取の規制を充実し保護を進めており、今後も引き続き生息生育環境の保全を図る必要がある。

iv) 再生砂による浅場づくり

- ・大村湾の地先に再生砂を活用した浅場造成を行い、県内で発生した産業廃棄物利活用の一つのモデルとなった。
- ・造成した浅場は、鳥やエイの捕食跡や二枚貝の幼生の生息が確認されており、生物の生息の場となりつつある。一方で、平成30年度は台風等の影響もあり稚貝の逸散や斃死がみられており、今後も継続してモニタリングを行う必要がある。
- ・SNS等でインスタ映えスポットとしてテレビで全国放送されるなど様々なメディアで取り上げられており、住民の大村湾に対する親水意識の向上に加え、本事業への関心度も高くなっている。

4. 令和元年度見直し内容及び令和2年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和元年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和元年度の新たな取組は「R元新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	令和2年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
2		「いさかん」水辺の保全と活用加速化プロジェクト事業	R元新規	③⑤⑦	中央干陸地の適正管理や再生可能エネルギーの導入手法等について、関係機関と連携して取り組むとともに、引き続き調整池・中央干陸地における環境学習を実施する。	改善
4	取組項目 i	みらいにつなぐ大村湾事業	R元新規	③⑤⑦	造成浅場のモニタリング調査を継続して実施するとともに、貧酸素水塊や底質改善のため、新たに湾奥部の窪地のモニタリングなどを実施していく。	改善
5		諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	令和元年8月に策定した第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画に基づき、各種対策を推進する。	③⑤⑦	諫早湾の水質改善のためには、関係機関が一体となって取り組む必要があり、第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画に掲げる各種の対策を推進するとともに、九州農政局等関係機関と連携して追加対策についても検討を進めていく。	改善
9	取組項目 iii	希少野生動植物保全事業費	本県に生息・生育する希少な野生生物種へ影響を及ぼすおそれのある外来生物等について、普及啓発資料を活用するなどして、県民に外来生物等に関する正しい知識を広め、早期発見・防除を図る。	②⑥	希少な野生生物種に影響を及ぼす外来生物等について、種別や地域別の生息生育状況等を把握することで、個別具体的な対応策を検討する。	改善

注:「2. 平成30年度取組実績」に記載している事業のうち、平成30年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができていないか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せていないか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点